



# JREU TOKYO

# 業務部速報



2023. 9. 17 No.006

発行: JR東労組東京地本 業務部

## 東地申第2号全組合員・全社員の命を守り、「決められたルールは確実に守る」という安全風土再確立のための緊急申し入れ 団体交渉を行いました(その3)

### 5. 2023年7月21日、田町～浜松町間で発生した触車に繋がる事象について、なぜ試運転列車の車種と走行ルートを正確に把握できなかったのか、原因ならびに首都圏本部の対策について示すこと。

(会社回答)

TC型無線式列車接近警報装置の鳴動を認識していたが、直ちに退避行動を取らなかったものである。なお、引き続き必要な教育は実施していく考えである。

#### 議論経過

- ・今の施設職場の安全対策がどのようになっているのかを象徴する事象ではないのか。ルールを守ることやルールが整備されてきた経緯について、再度周知・議論すべきではないか。そのような認識は労使で一致している。
- ・最近、列車見張員の退避完了合図が出ていて運転士が気笛で応答してもリアクションがない事が多いが大丈夫か。
- ・対策として、触車者事故防止手引の再周知、列車見張員の任務と作業者の任務の再徹底をする。1年に一回の教育とは別に再教育も実施していく。TC型列警から列車の接近情報を得られたら直ちに退避箇所に退避することと臨時列車の走行するルートを列車見張員だけではなく全作業で把握・確認する。
- ・このような事象は埋もれているのではないか。安全確保には寸前の判断が問われる。当該事象は現場を行き過ぎて停車している。よく止めた事象であり、乗務員区にも周知し徹底すべきである。

#### 【確認事項】

背後要因の一つとしては、TC型列警が鳴動を認識していたが、直ちに退避行動がとれなかった。列車が来ないのではないかという思い込みがあったこと。対策としては触車事故防止手引の再周知を行っていくと同時に、臨時列車の有無を全体で確認していく。前項と同じように乗務員職場へ周知する主張については受け止める。乗務員のナイスプレーについて全体周知を図っていく。

### 6. 「首鉄MB672号」通達の発出により首都圏本部及び各現業機関が得た成果と課題を示すこと。

(会社回答)

対象社員に対し、線路内落し物拾得の徹底事項を改めて周知することで安全意識の向上をはかる契機となった。一方、本通達の取扱いにより、拾得まで時間を要し、お客さまにお待ちいただくことがあった。

#### 議論経過

- ・3日間の根拠については、テ・非・ヤの3日間でほぼ全員に周知ができるから。まずは緊急性を感じてスピード感をもった対応が必要だった。3日間でよく周知できたと感じている。一方で指令への周知だが、列車を止めての拾得作業については指令の負担が大きかった。職場の声として、他駅の事象を受けて抑止して拾得作業をすることについては、否定的にならずに3日間取り組んだ。お客さまにお待ちいただくことが前提ではあったが、23時20分に申告を受けて拾得作業着手が0時50分。一時間半お待ちいただいたことは職場でも想定外だった。他駅での旅客転落や終電対応とも重なり、指令員の作業が輻輳していた。
- ・3日間で列車を止めて拾得作業を実施した件数は首都圏本部管内では216件あった。
- ・箇所に負担をかける通達ではあったが、わかっていないのにわかったふりをする箇所があることが一番怖いから、通達の5項目の内容周知で全体的な歯止めをかけた。この通達は恒久的なものではない。上記のような生の声を把握してほしい。
- ・社員への周知の方法については職場に一任した。しかし、朝の点呼で「池袋や五反田で事象があったから気をつけましょう」で終わる箇所もあった。職場内の伝え方と、主旨の受け止めや腹落ち感も含め、本当に重要な内容が伝わっていたのか。
- ・本通達が乗務員区では周知されていない。会社として、今回は指令が通達を認識していて抑止をかけることが出来れば良いとしていた。だが、メールは乗務員職場に送信されていた。命を守るために駅職場は作業を行っているが、一方でその通達に対して乗務員職場の問題意識が無いのではないか。抑止前提の拾得作業が実施されるのであれば乗務員にも周知すべき。拾得作業に抑止が増えたとの疑問の声は乗務員間で出ていた。Teamsなども活用出来たのでは。今回の通達は垣根を超えて取り組む課題そのものだ。

#### 【確認事項】

この通達が恒久的な対策ではなく、池袋や五反田の事象で緊急性を感じ、ひとまず歯止めをかけるための通達であった。この通達をきっかけにして、今後はさらに周知の仕方などを示して、更なる安全対策をとっていくこと。議論の中での問題意識については主張を受け止め、各ユニットで乗務員への周知の方法についても共有していく。